

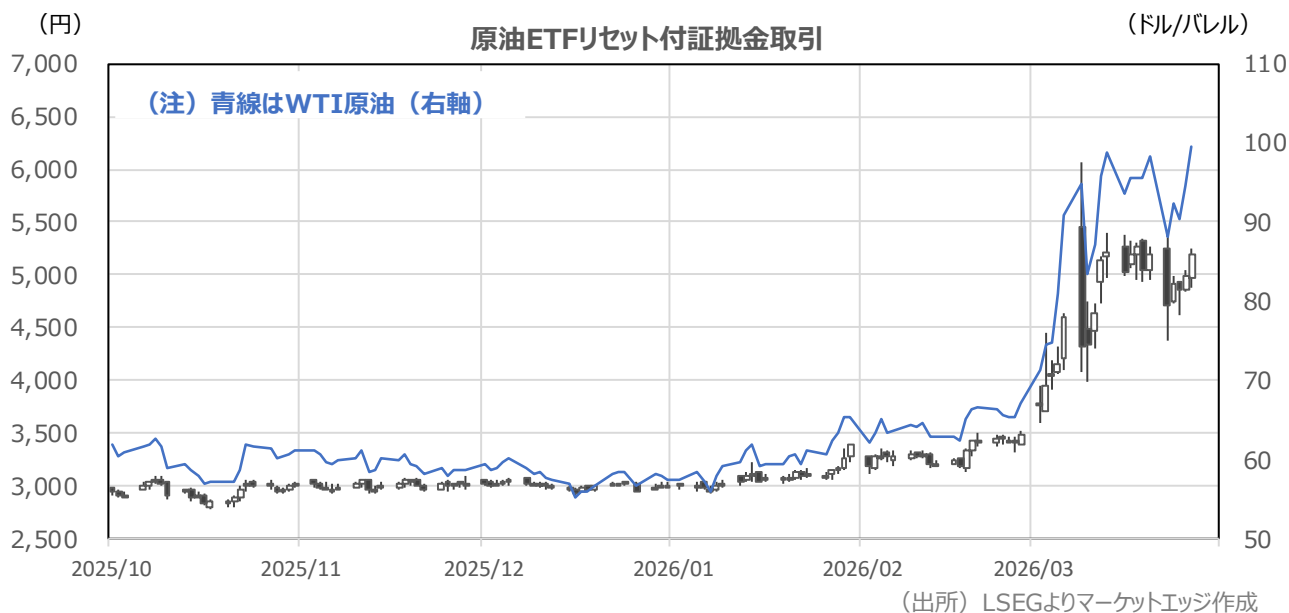
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/03/30号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



イラン情勢に一喜一憂、高値圏で売買が交錯

NY原油先物相場は、1バレル=84.37ドルまで急落した後、100ドル水準まで切り返す不安定な地合いになった。トランプ米大統領がイランとの停戦協議に前向きな姿勢を見せ始めたことで、週前半は上値の重い展開になり、3月11日以来の安値を更新した。トランプ米政権は停戦に向けた15項目の計画を策定し、イランに提示した模様だ。しかし、イラン側からは停戦協議に否定的な発言が目立ち、早期の停戦合意が可能なのか、懐疑的な見方が広がったことが、週末にかけて改めて原油相場を押し上げた。一時100ドル台を回復した。

イラン情勢は目まぐるしく変化しており、原油相場も不安定な値動きが続いている。原油相場の鎮静化には戦争の終結、ホルムズ海峡の封鎖解消が求められるが、先行き不透明感が強い。トランプ米大統領が停戦協議に前向きな姿勢に転じたのは大きな変化だが、イランやイスラエルは停戦に賛同する姿勢を見せておらず、戦争の激化・長期化が警戒されたことが、原油相場を下支えした。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (3月20日時点) は、原油が前週693万バレル増、ガソリンが5259万バレル減、石油精製品が303万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

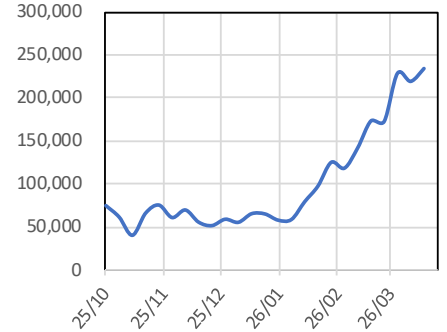
イラン戦争継続だと底堅い、停戦協議の行方を見ながらの展開

イラン情勢に強く左右される展開が続く見通しだ。トランプ米大統領はイランとの停戦協議に積極的姿勢に転じ、15項目の条件をイランに提示した。しかし、イランは5項目の条件を米国に逆提案した。停戦条件を巡る協議が始まったことは大きな変化であり、両国に歩み寄りがみられた場合には原油相場は80ドル前半まで急落する可能性がある。一方、交渉に目立った進展がみられない場合には、アジアや欧州地区の原油・石油製品供給の落ち込みから、原油相場は一段高を打診する可能性が高まる。このため、イラン情勢を巡る各国の動向に一喜一憂する不安定な地合が想定されるが、戦争の長期化が警戒されている間は、上振れリスクを抱える。100ドル台での滞在時間が増える可能性がある。

ホルムズ海峡の封鎖が続いているが、イランは「非敵対的船舶」の通過を認める立場を示した。ホルムズ海峡封鎖でトランプ米政権に圧力をかける一方、関係国の取り崩しを狙っているとみられる。攻撃を受けるリスクの高さから原油流通環境が大幅に改善する可能性は低いが、タンカーのホルムズ海峡通過の報告が増えてくると、供給不安の緩和から調整売りが広がるリスクがある。

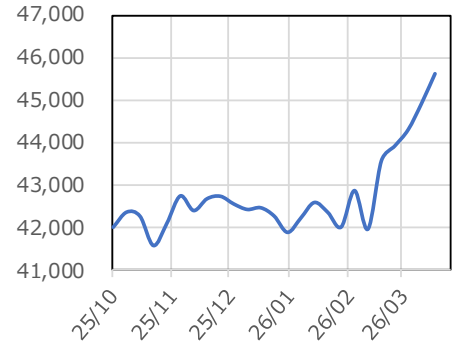
一方、トランプ米大統領はイランのエネルギー施設、発電所に他する攻撃を4月6日まで停止する方針を示している。イランとの協議を優先する姿勢が窺えるが、合意に至らなかった場合には地上軍の投入、イランの原油輸出拠点であるカーク島に対する攻撃など、強硬な対応に踏み切る可能性が報じられている。ただし、ホワイトハウスは明確な方針を示しておらず、大きな不確実性から引き続き上下双方に大きめの取引レンジを想定したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



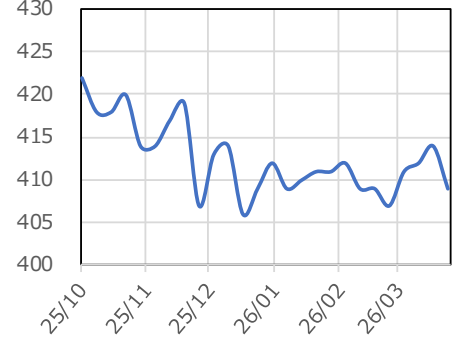
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

